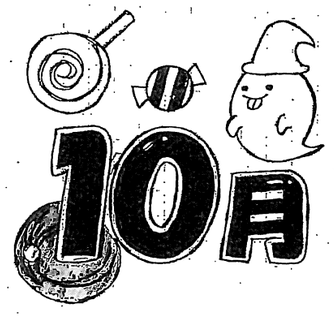
月刊
利根日石新聞
2009年11月1日　創刊　令和1年10月号
第０００１２１号
発行
利根日石株式会社　TEL 0278-24-1635
本社販売管理課　FAX 0278-23-7980



先月、千葉県を襲った台風は、大惨事となってしまいました。テレビ等で災害状況を見て、想像を絶する現場に台風の恐ろしさを再認識させられました。大木が倒れ電柱も倒し、電気も水も使えず連絡手段も出来ず……。ライフラインが停止することの恐怖。ひとごとではありません！最悪を考えて、家族で良く話しあっておく事だと感じました。台風被害に遭われた皆様お見舞申し上げます。

今時の男子は…

三男が寮生活になりもう1年半が過ぎました。3年生の先輩達は夏の大会が終わり寮を出て自宅へと戻りました。今迄、下級生達は2人の相部屋でした。ルームメイトの彼には、息子のハンパないイビキに歯ぎしり、寝言!!かなり迷惑をかけてしまいました。

でも今は平和な日々を過ごしていることと思います^^

先日、母達で子供の留守中に一人一人の部屋を内緒で見てしまいました。どの部屋もキレイにしてあり、何より驚いたのは部屋のニオイがとても良い香なんです。洗たくのじゅうなん剤の香です。まるで女性の部屋の香!!フローラル!!今時の男子は母より女子力高い以外な一面でした（笑）

3人息子の母でした

先月、子供達の運動会がありました。最初は中学校の運動会。天気がよく1日校庭で見ていたら母とチビちゃん日焼けがすごくて日傘を持っていけばよかったと後悔しました。中学校の広い校庭にチビちゃん「すごいねえ」と興奮ぎみでした。パワフルな組立体操、徒競走、騎馬戦、リレーと迫力がすごく、ドキドキと感動いっぱいでした。今までは兄ちゃんにはご褒美、チビちゃんには頑張る為にディズニーへ旅行に行っていたのですが、部活があり休みもなく先のばしに…。

チビちゃんの運動会過ごしやすい天気でした。「かけっこ1番だったらご褒美ちょーだい」と自信満々で頑張りました。ダンスになわ飛び組立体操可愛くて感動です。チビちゃんご褒美買ってもらってご満悦。しばらくして「ディズニーは？いつ行くの？」と。2人の運動会が終わっても行く気配がなく？？と思ったみたいで…。

チビちゃんはいっぱいお出掛けしたくて、行きたい所がたくさんですね。

「兄ちゃんの部活が休みの時まで待っておくれ～」と思う母でした。

要注意!! 安売り業者が消費者トラブル、無断値上げと提訴された

上毛新聞（平成21年）1月21日（水曜日）

「無断でプロパン値上げ」
横須賀など　返還求めきょう提訴

横須賀市など三浦市、葉山町の消費者21人が21日、大手ガス販売会社を相手取り、「無断で値上げされた」として、横須賀市と三浦市、葉山町の消費者21人が、大手ガス販売会社「日本ガス」（横須賀市）に対し、値上げ分の返還などを求めて、横浜地裁横須賀支部に提訴する。原告は提訴後の記者会見で、同社は、値上げの通知を、検針票の下部にある「お知らせ」欄に小さく記していただけだったとして「値上げに気付かなかった」と憤った。

同社は、ガスの使用量や料金などを契約者に知らせるために各世帯に配布する検針票に「来月検針分から値上げします」などと記載して通知している。

記者会見した原告団長の太田遊弘さん（73）は「料金が上がったのは仕方ないが、通知の仕方があまりにひどい。気付かなければ、知らないうちに値上げされたことになる」と話した。

原告は、プロパンガスが、公共料金である都市ガスとは違い、各事業者が自由に料金を設定し、近隣でも価格が大きく異なるケースがあることが特徴。消費者がガス販売事業者を訴えるのは全国で初めてという。

同社によると、ガスの輸入価格高騰を受け、昨年1月の検針票で、関東1都8県の約40万世帯に対して「1月検針分より1㎥当り30円（税別）値上げ改定させて頂きました」と値上げ後に通知したという。消費者の苦情を受け、経済産業省関東経済産業局は「値上げは社会常識的に考えて事前に通知するのが当たり前」と適切ではない」としながら、訴訟に加わったという。

同社は提訴について「コメントできない」としながら、訴訟新聞の取材には「値上げは事前に検針票で告知している。価格差は是正したいが、世帯ごとに料金を交渉するうえ、契約時期によっても単価に差が出る。業界全体にいえること」と反論している。同社は関東の1都8県で約40万世帯と契約している。

上毛新聞（平成21年）1月22日（木曜日）

検針票で事後通知「論外」
プロパン値上げ　ニチガスを提訴

知らないうちに一方的に値上げされたとして、横須賀市と三浦市、葉山町の消費者21人が21日、大手ガス販売会社「日本ガス」（横須賀市）に対し、値上げ分の返還などを求めて、横浜地裁横須賀支部に提訴する。原告は提訴後の記者会見で、同社は、値上げの通知を、検針票の下部にある「お知らせ」欄に小さく記していただけだったとして「値上げに気付かなかった」と憤った。

同社は、ガスの使用量や料金などを契約者に知らせるために各世帯に配布する検針票に「来月検針分から値上げします」などと記載して通知している。

記者会見した原告団長の太田遊弘さん（73）は「料金が上がったのは仕方ないが、通知の仕方があまりにひどい。気付かなければ、知らないうちに値上げされたことになる」と話した。

原告は、プロパンガスが、公共料金である都市ガスとは違い、各事業者が自由に料金を設定し、近隣でも価格が大きく異なるケースがあることが特徴。消費者がガス販売事業者を訴えるのは全国で初めてという。

同社によると、ガスの輸入価格高騰を受け、昨年1月の検針票で、関東1都8県の約40万世帯に対して「1月検針分より1㎥当り30円（税別）値上げ改定させて頂きました」と値上げ後に通知したという。消費者の苦情を受け、経済産業省関東経済産業局は「値上げは社会常識的に考えて事前に通知するのが当たり前」と適切ではない」としながら、訴訟に加わったという。

同社は提訴について「コメントできない」としながら、訴訟新聞の取材には「値上げは事前に検針票で告知している。価格差は是正したいが、世帯ごとに料金を交渉するうえ、契約時期によっても単価に差が出る。業界全体にいえること」と反論している。同社は関東の1都8県で約40万世帯と契約している。

朝日新聞（平成21年）1月22日（木曜日）

料金値上げ「不当」
横須賀など

横須賀市など三浦市、葉山町に住む個人6人が21日、大手ガス販売会社「日本ガス」（横須賀市）に対し、値上げ分の返還などを求めて、横浜地裁横須賀支部に提訴する。原告は提訴後の記者会見で、同社は、値上げの通知を、検針票の下部にある「お知らせ」欄に小さく記していただけだったとして「値上げに気付かなかった」と憤った。

同社は、ガスの使用量や料金などを契約者に知らせるために各世帯に配布する検針票に「来月検針分から値上げします」などと記載して通知している。

記者会見した原告団長の太田遊弘さん（73）は「料金が上がったのは仕方ないが、通知の仕方があまりにひどい。気付かなければ、知らないうちに値上げされたことになる」と話した。

原告は、プロパンガスが、公共料金である都市ガスとは違い、各事業者が自由に料金を設定し、近隣でも価格が大きく異なるケースがあることが特徴。消費者がガス販売事業者を訴えるのは全国で初めてという。

同社によると、ガスの輸入価格高騰を受け、昨年1月の検針票で、関東1都8県の約40万世帯に対して「1月検針分より1㎥当り30円（税別）値上げ改定させて頂きました」と値上げ後に通知したという。消費者の苦情を受け、経済産業省関東経済産業局は「値上げは社会常識的に考えて事前に通知するのが当たり前」と適切ではない」としながら、訴訟に加わったという。

同社は提訴について「コメントできない」としながら、訴訟新聞の取材には「値上げは事前に検針票で告知している。価格差は是正したいが、世帯ごとに料金を交渉するうえ、契約時期によっても単価に差が出る。業界全体にいえること」と反論している。同社は関東の1都8県で約40万世帯と契約している。

（平成21年）1月22日（木曜日）

原告らは「最も悪質コストがかかった詳細な提示された料金プランと比べ、実際の請求額が高くなっている」と訴えている。提訴を受け、二チガスは「訴訟を踏まえてコメントできない」としている。

（平成21年）1月22日（木曜日）

原告らは1立方メートル当たり220円という換算価格を示した。一方で、同社は08年4月から輸入価格の高騰を理由に、東京ガスの約40万世帯に主にLPガスを供給する契約を結んでいる。販売などによって、

（平成21年）1月22日（木曜日）

料金値上げ「不当」
横須賀など

横須賀市など三浦市、葉山町に住む個人6人が21日、大手ガス販売会社「日本ガス」（横須賀市）に対し、値上げ分の返還などを求めて、横浜地裁横須賀支部に提訴する。原告は提訴後の記者会見で、同社は、値上げの通知を、検針票の下部にある「お知らせ」欄に小さく記していただけだったとして「値上げに気付かなかった」と憤った。

同社は、ガスの使用量や料金などを契約者に知らせるために各世帯に配布する検針票に「来月検針分から値上げします」などと記載して通知している。

記者会見した原告団長の太田遊弘さん（73）は「料金が上がったのは仕方ないが、通知の仕方があまりにひどい。気付かなければ、知らないうちに値上げされたことになる」と話した。

原告は、プロパンガスが、公共料金である都市ガスとは違い、各事業者が自由に料金を設定し、近隣でも価格が大きく異なるケースがあることが特徴。消費者がガス販売事業者を訴えるのは全国で初めてという。

同社によると、ガスの輸入価格高騰を受け、昨年1月の検針票で、関東1都8県の約40万世帯に対して「1月検針分より1㎥当り30円（税別）値上げ改定させて頂きました」と値上げ後に通知したという。消費者の苦情を受け、経済産業省関東経済産業局は「値上げは社会常識的に考えて事前に通知するのが当たり前」と適切ではない」としながら、訴訟に加わったという。

同社は提訴について「コメントできない」としながら、訴訟新聞の取材には「値上げは事前に検針票で告知している。価格差は是正したいが、世帯ごとに料金を交渉するうえ、契約時期によっても単価に差が出る。業界全体にいえること」と反論している。同社は関東の1都8県で約40万世帯と契約している。

（平成21年）1月22日（木曜日）

原告らは「最も悪質コストがかかった詳細な提示された料金プランと比べ、実際の請求額が高くなっている」と訴えている。提訴を受け、二チガスは「訴訟を踏まえてコメントできない」としている。

REPORT
自由化時代、エネルギー企業の目指すもの　Vol.1
月刊ボス（2018年2月号）

革命児を気取るブローカー企業
ニチガスの評判と実態

2016年の電力小売り完全自由化に続き、17年には都市ガスの自由化もスタート。電力・都市ガスの地域独占を排し、競争原理を持ち込み、消費者利益を拡大させることが目的だったはずの自由化だが、そこで「活躍」する企業は革命児どころか、とんだ問題児だった。

（中略）

4月21日、「電力・ガス取引等監視委員会が同社を呼び付ける。「ガス小売全面自由化でこの日までに寄せられた苦情件数は、国民生活センター99件、委員会に97件、計196件に上る。うち6割強が関東地方のものであった。この時点で関東でのスイッチングは全国の1割に満たない状況にあったにもかかわらず、である。

「契約中のガス会社の名称が変わるなど案内された」「地域を担当するガス会社が代わるとの説明により申し込みを勧誘された」「ガスの契約切り替えを申し込んだつもりはないのに契約手続きがなされていた」それらの事例の中で極めつきは以下のものである。

「ガスが自由化され、この地域は二（昨年12月に支払った料金の）つ方約7万7863円の返還と、1人当たり10万円の賠償金を求めている。

原告の一人、横須賀市の女性（65）によると、3㎡離れて「同社のプロパンガスを使用する立行会社のことが書かれていた」ことがわかり、訴訟に加わったという。

同社は提訴について「コメントできない」としながら、訴訟新聞の取材には「値上げは事前に検針票で告知している。価格差は是正したいが、世帯ごとに料金を交渉するうえ、契約時期によっても単価に差が出る。業界全体にいえること」と反論している。同社は関東の1都8県で約40万世帯と契約している。

切ではない」として改善を指導した。

同社は読売新聞の取材に「検針票で値上げを通知しているのは、一番なじみのある書類だからで、契約者は気づくと思っている。値上げには、原料価格の異常な高騰がある。適法行為は行っていない」と説明。値上げの事後通知については「反省しており、今後は行わない」としている。

原告代理人の吉山拓一弁護士はまた、同社との契約者約30人が提訴する経緯を示しており、単価が異なる、追加提訴する考えを明らかにした。

手ガスの供給エリアになりましたので、契約書に記入してください」と言い、契約書にその場で記入・捺印させ、強引に契約を締結させられた」これらの苦情を前に、ニチガスの担当役員は当初、「教件程度はあるかもしれない」と言っていたものの、同社の社名が数多く出るにつれて、もはや言い逃れが出来ないと感じてか、ようやく5月8日、ホームページ上で謝罪文を出す。しかしながら、この謝罪文の前段は、「契約数は国内では120万件を超え、海外では20万世帯となり、国内第4位のガス小売事業者へと成長…4月末現在、都市ガスに関するお申し込み件数は約3万件に達し、多くのお客様からご支持をいただいております」との自社のPRで占められ、謝罪内容はわずか4行というものであった。加えてこの謝罪文のニュースリリースは、いつの間にか同社ホームページのバックナンバーから削除されている。

ブローカーを使い消費者を脅し騙す

「マイクロバスに契約勧誘のブロー

（決して原稿書くのをサボってる訳ではありません^^）

ここ最近、沼田周辺で訪問契約を得るべく、営業をかけているガス会社がありますよね。自由競争社会である以上、サービスと価格で競いあうのは当然ですし、いざこざが起こる事も中にはありますが、しかし、この会社はそのいざこざの量も質も特別です。充分ご注意ください。